

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(*)

平成27年度 維持管理状況(8月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 大田清掃工場 2号炉 8月20日(木) 18:00
燃焼室ガス温度が、782℃を記録した。
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。
直ちに、No.1昇温バーナ及びNo.2昇温バーナの運転を行い燃焼改善を図った。
その結果、維持管理計画値以上に回復した。

- ② 破碎ごみ処理施設 1号炉 8月29日(土) 15:00
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で145ppmを記録した。
原因は、ごみ供給機においてごみの圧密が発生し、ごみ供給不足による酸素供給過多となり、酸素濃度12%換算値における一酸化炭素濃度が上昇したことによる。
直ちに、燃焼空気量及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。
その結果、維持管理計画値以下の正常な燃焼状態に回復した。